

林檎の森

りんごのもり

11
2021
vol.472



特集

着色優良系統ふじの導入に向けて
近年の温暖化に対応したリンゴ栽培を考える

着色優良系統ふじの導入に向けて

近年の温暖化に対応したリンゴ栽培を考える

着色優良系統の必要性

りんご生産者の高齢化や補助労働力不足が深刻化する中で、着色管理に係る労力軽減対策が急務となっている。さらに、地球温暖化の影響により最低気温が上昇し、リンゴの着色に必要な発現温度まで下がる日が少ないことで着色不良も不安視されている。着色を待つ生産者は果実の軟質化や収穫遅れを招くことが懸念されるほか、温暖化による夜温の上昇はリンゴの呼吸量が多くなることでエネルギーを消費することから、販売面においても棚もちが悪くなる。生産から販売に至るまで、温暖化が及ぼす悪影響は産地にとって大きな課題となってきた。

前段でも触れている通り、近年

は8月下旬から11月上旬までの気温が上昇している傾向にあり、少なからずリンゴの着色に影響を及ぼしていることが伺える。当JAにおいても、その課題は急務としており、昨年、青森県よりも南下に位置する福島県のリンゴ園を視察した。その際に、普通系ふじの着色遅れを目の当たりにしたことを鮮明に覚えている。しかしながら、福島県においては課題解決に向けて徐々に着色優良系統ふじを導入しており、着色遅れの防止対策に乗り出していたのも印象的だった。

視察先の木村英明さんは、着色優良系統のふじは市場においても評判が良い反面、早期に着色が上がることから食味を重視した適期の収穫判断が以前よりも難しくなってきたと話す。リンゴにおいては見た目も非常に大事だが、食味も最大限に重視しなければリピーターが付いてこないことが挙げられる。以前、晩生種りんご精算報告会に

▼ 福島県飯坂市を訪れ、10月上旬の着色優良系統ふじの着色度合いを視察（JA相馬村果樹産地プロジェクトチーム）。



● 株式会社 木村商店 代表取締役 木村 英明さん（右奥）

・ ふじの栽培面積：100a ・ 着色優良系統ふじ：紅虎／うまじろう

※ 自社の選果場で選果・荷造り作業を行い、市場やスーパーに直接リンゴを販売している。



東一東京青果(株)
渡邊 勝俊 審議役

おいて東一東京青果(株)の渡邊審議役が産地に強く求めていたことが脳裏に浮かぶ。その際に、「ふじを切って、ふじを植える。」と話したことを覚えている。この言葉は、産地の悩み解消に向けて着色優良系統への更新を促すものだった。温暖化が押し迫る中で、今回は気温の変化を考慮したリンゴ生産に理解を深め、当J Aが推奨する着色優良系統を紹介したいと思う。

系統更新のススメ

着色優良系統ふじの長所は、その名の通り普通系ふじよりも着色が良く、早い段階から着色が進むことだ。また、着色が進むような

年でも着色の差を確認することができ、色のバツつきも少ない。葉摘みや反射シートを設置する作業も省力化されることから、系統更新は労力軽減にも繋がる大きな力ギを握っている。省力化を図るといふことは、すなわち少ない手間で作業を進められることから、人件費の削減にも繋がると云いえよう。当J Aは、昨年から着色不良や労働力不足における対応策として、推奨した着色優良系統の苗木に一部助成していることから、今後の系統更新に向けて是非ご活用いただきたい。

着色優良系統の導入による効果

次ページの図1は、普通系ふじの一部に着色優良系統ふじを高接ぎした樹の写真である。普通系ふじの方は着色優良系統ふじよりも葉摘みを早く実施し、葉を摘む程度も強く行っている。一方、着色優良系統ふじの方は、元々着色良

好なため葉摘み時期を普通系ふじよりも後に行い、葉を摘む程度も普通系ふじに比べて弱めに作業している。葉摘み後の10月21日時点では、普通系ふじよりも葉摘みを遅く行った着色優良系統ふじの方が着色度合いも勝っていたのが写真を見ても分かる程だ。また、過度な葉摘みをしなくても着色するため、紫外線やケ防止にも効果が見込める。



成木の真横に苗木を植えて育成

このように、着色優良系統の導入は品質向上と労力軽減に大きな力を発揮しているはずだ。

効率的な系統更新に向けて

まず、着色優良系統を導入する場合は食味の良いものを選択することが大切だ。また、導入に向けては、労力を考慮した上で品種割合を見直すことも重要になってくる。黄色品種や早生及び中生種か



苗木を密植させて育成させる



図1 着色の差がハッキリと見て分かる（10月21日撮影）

ら過度に晩生種である着色優良系統ふじを増やすと今まで以上に労力が必要となるため、家族労働で十分に間に合うことを前提に導入していかねばならない。まずは、普通系ふじから着色優良系統ふじへの更新を前提に考えて頂きたいところだ。さらに、労働力不足解消に向けては、急傾斜園の平場移行やワイ化栽培への改植など、園地の若返りも視野に入れて生産の効率化を図ることも必要な時代となってきた。系統更新の際は、丸葉とワイ化の選択や本数など、条件不利地からの平場移行も肝心だ。

系統更新といっても、従来までの樹を伐採して新植した場合、果実を収穫できるまでには数年の月日が必要であることは言いつまでもなく、その期間の収量は伐採前よりも減少する。収量の減少を少しでも抑えるためには、園地の一部に苗木を密植させて育成するスペー

スを設けることや、既存の成木の胴樹付近に苗木を植えて収量をある程度維持しながら苗木を育成する方法がある。農業経営として計画的な系統更新が求められてくる。

飛馬ブランドの確立に向けて

着色や食味を究極に追及するとなれば、地域一丸となって系統の統一も図っていければ飛馬りんごの更なる飛躍へと繋がっていくのではないだろうか。一括りに着色優良系統ふじといっても系統ごとに特徴がある。果点荒れが少ない「宮美ふじ」、着色において縞が鮮明な「つまじろう」、果形が他系統に比べて円形でがくあぶまで着色する「紅虎」など、いずれも着色良好な点に加えて特徴は様々な備えている。当JA管内においては、各系統を既に導入している生産者も見られることから、皆さんに情報共有しながら今後も産地力強化を図って参ります。

J A相馬村が推奨する着色優良系統



うまじろう

- ・ふじの枝替わりから出た着色系ふじ
- ・花芽形成が非常に優れ、量産型である
- ・蜜入りが良く、ジューシーで肉質、食味ともに良好



宮美ふじ

- ・長ふ系ふじから選抜した着色系統
- ・果点荒れが少なく綺麗な果形が多いことが特徴
- ・従来のふじよりも冷蔵ヤケが少ないが、成りはじめは縞が不明瞭になる場合もある



紅虎

- ・「三島ふじ」の枝変わりで温暖化に対応した早期着色系ふじ
- ・果形は円～長円形。果色は濃赤色でがくあ部まで着色
- ・色付き始めが9月下旬より始まるが、早もぎに注意する

着色優良系統ふじ 購入に対する 助成について

品 種：うまじろう
宮美ふじ
紅虎
コスモふじ
平成美人

助成金：1本あたり **500円**

※年間500本までの上限あり



コスモふじ

- ・ふじの枝変わりから生まれた着色先行型の新品種
- ・蜜入りに優れ、ふじよりも硬く、食味が良い



平成美人

- ・「平成ふじ」の中より、色彩が濃くバラツキの少ない優良系統を選抜育成した「究極のふじ」
- ・着色のバラツキや玉揃いも良い為、りんご品評会でも高評価を得ている

topics

「まちたんけん」で
JA訪問

01



初めてリンゴの硬度を測る三上凛人君

10月7日、相馬小学校2年生の児童4名がJA本所を訪れ、JAの仕事について理解を深めた。

児童らは金融・共済課や購買課で窓口業務を見学したほか、農業振興課においてリンゴの熟度調査も体験した。慣れない調査機器に苦戦しながらも鮮度や食味の重要性を学んでいた。

体験した石岡希理君は「身近なリンゴでも知らなかったことが多くあり、今回の見学で沢山勉強になりました」と感心を深めていた。

topics

ライスセンター
新設に向けて最終確認

02



図面などの資料を基に最終確認する関係者

10月8日、JA本所にてライスセンター新設工事に係る現場説明会が行われ、大場勉代表理事組合長を筆頭に工事関係者14名が出席した。

説明会では、設計図を基にJA全農とつほく設計センター職員から説明を受け、小型乾燥機の高さや配置場所などの細かい部分を確認した。

ライスセンターは11月下旬に取り壊しが行われる予定となっており、令和4年産米の刈取り時期までに完成を見込む。

topics

共済連職員が
リンゴ作業を研修

03



葉取り作業を行う全共連職員

10月12日から、当JA管内リンゴ園で全共済青森県本部職員におけるリンゴ栽培作業研修がはじまった。これは毎年実施されており、受入農家が着色管理や収穫作業を指導。労働力不足が深刻化するなかで、援農としても一役を担っている。

今回研修に参加した共済連職員の工藤雅士さんは、「初めて葉取りや玉回しの作業をさせてもらい、とても大変な作業だと感じました。これからは、この苦勞を噛みしめてリンゴを食いたいと思います。」と感想を話してくれた。

topics

農作業の大変さを感じ
市長が激励

04



高所作業台を使って収穫作業をする櫻田市長

10月14日、坂市地区にある嶋口千速さんのリンゴ園で弘前市長現地督励が行われた。当日は櫻田宏市長が園地を訪れ、収穫を迎えた生産者に励ましの言葉を贈った。

この日は、シナノスイートの収穫作業が行われており、櫻田市長も高所作業台を使って収穫作業を体験した。櫻田市長は、「忙しい時こそ農作業事故や体調に注意し、最高のリンゴを収穫してください。」と声をかけていた。

topics

山内斉氏の功績永遠に

05



山内斉氏の弟子らが石碑を囲む

10月18日、湯口地区にある山内清和さんの園地前に、山内斉氏の功績を称える顕彰碑が建てられた。石碑には、これまで受賞した立木品評会「農林水産大臣賞」受賞や大日本農会「緑白綬有功章」などの受章が記されている。

この顕彰碑を建てる事を発案した紙漣沢地区の三上博幸さんは「この先も師匠を称え、初心を忘れないように我々弟子達で師匠から受け継いだ意志を継承していく。」と話していた。

topics

JAL空港地上係員も活動に参加

06



岩木山と赤く色付いたリンゴを背景に記念撮影

10月18日、日本航空(株)青森空港所の大石寛之署長をはじめとする地上係員計6名が当JA管内りんご園2カ所で援農活動を行った。昨年からスタートした日本航空パイロットの有志らによる援農活動に奮起し、青森空港所としても一緒に取り組み、活動を盛り上げようという想いで実施。

葉摘み作業を行った大石所長は、「リンゴが消費者の口に届くまで、こんなに大変なことを実感した。農家の方々の御苦労のおかげで美味しいリンゴが普通に食べられることに改めて感謝の気持ちでいっぱいになりました。」と話してくれた。

topics

世界に誇るふじ 収穫始まる

07



今年のふじは糖度が高く、食味も良好

10月18日から有袋ふじ、10月27日からサンふじの収穫が始まった。ふじの収穫を始めた紙漣沢地区の大場博文さんは、「ふじを収穫し始めるとリンゴ作業も本番な感じがして気合いが入る。今年は早く着色してくれたので安心して作業に励むことが出来ます。」と話していた。

王林やシナノゴールドなども最盛期を迎え、贈答に人気な飛馬ふじの収穫もスタートしている。

topics

JALのCAも収穫援農

08



収穫作業を手伝う青森県出身のふるさと応援隊

11月1日、桐の木沢地区の嶋口千速さんの園地において、JALふるさと応援隊青森県担当の4名と、日本航空(株)の安井勝一青森支店長はじめとする関係者4名がサンふじの収穫作業を手伝った。

青森県出身のCA2名は、「この時期に忙しい事が分かっていて、少しでも力になりたいと思って参加しました。他のCAも青森が大好きで参加してくれました。」と地元愛を語った。

10月4日、相馬小学校3年生の児童12名が山内大樹（五所地区）さんの園地を訪れ、袋剥ぎ作業と絵入りリンゴをつくるためのシール貼りを行った。また、この日は、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から9月に行えなかった葉摘み作業の重要性についても説明を受けた。

袋剥ぎ作業についてはリンゴに傷を付けず、尚且つ落下させないよう注意することを念頭に置きながら、児童は慎重に作業をしていた。シール貼りについては、児童が事前に絵描いたものを用いて作業にあたり、女性部や児童の保護者のサポートを受けて上手に貼っていた。丸いリンゴにシワ無くシールを貼ることは難しいものの、自分の描いた絵の中でも強調したいところは特にシワが寄らいようにするなど、ポイントをしっかりと押さえて作業していたのが印象的だった。作業を終えた児童は、「シール貼りは難しかったけど上手に貼れた。収穫するときに自分で描いた絵が綺麗に浮き上がっているか凄く楽しみ。」と期待を寄せていた。

そのほか当日は、園主の山内大樹さんがリンゴの栽培管理に重要なスピードスプレーヤーや乗用草刈機、剪定鋏等を実際に見せて紹介した。児童は実際に乗用草刈り機等の運転席に座り、座り心地や視線を確かめて楽しんでいたら、これらの機械に対して使う頻度や値段等の質問を沢山挙げていた。

オリジナルりんごの完成

10月26日、最後の授業である収穫作業を行った。

はじめに、米澤松太農業振興課主任から収穫の仕方が説明され、



乗用草刈り機に興味津々な児童

児童は前回貼り付けたシールを剥ぎ取り、収穫へ取り掛かった。シールを剥ぐと、児童は「描いた絵がリンゴに写っている」、「きれいに写せた」など嬉しそうな声をたくさん挙げていた。収穫時については、中々もぎ取れない児童もいたが、次第に慣れた手つきで収穫する様子が伺えた。

最後に、収穫した絵入りリンゴを並べてみると個性が際立つものが多く、世界に一つだけのリンゴが完成していた。

本年の「青空りんご教室」の先生を担当した米澤主任は、「約1年間を通してリンゴ栽培の中で楽しい事や苦労した事が分かったと思います。これからは、これらの気持ちを思い出しながら食べるともっと美味しいと思います。」と児童らへ伝えた。

相馬小学校では、毎年3年生が「青空りんご教室」と題して課外授業を行っている。当JAにおいては、リンゴの栽培方法や各種作業の大切さを伝え、今後も更に楽しい授業が実現できるよう努力して参ります。



世界に一つしかない自慢のリンゴを持って記念撮影



絵が写っているかドキドキしながらシールを剥ぐ児童

直売所「林檎の森」

直売所 三上翔平



いつも直売所「林檎の森」をご利用頂きありがとうございます。

現在直売所では赤カブ、高菜、白菜、菊イモ、色とりどりの食用菊などが入荷し大変賑わっております。

赤カブは嶽地区で収穫されたもので、約5kg入りで600円前後の値段で販売しています。その日の入荷量にもよりますが完売してしまうほど大人気です。食感がとても良く、赤カブ漬けや浅漬け、薄くスライスしてサラダにするなど、色々な用途に適しています。

そのほか白菜もとても大きくてお安くなっております。価格は出荷者によって異なりますが、150〜300円ほどで並んでおります。寒い季節となったので鍋や煮物にいかがでしょうか？

果物に関しては柿、洋梨、リンゴなど様々な果物が出ています。

リンゴは中生種の早生ふじ系やジョナゴールド、紅玉などから切り替わり、現在売り場には晩生種のサンふじや王林、シナノゴールド、名月、星の金貨金星など様々な品種が並んでいます。

そのほか、林檎の森のイベントとして11月18日から「りんご祭り」が例年通り開催予定となっております。今年も昨年同様、マスクの着用と入口での手指消毒は必須となりますので御協力よろしく願います。

会員のリンゴ産地は主に相馬地区、下湯口地区、岩木地区周辺となっております。品種に関してはサンふじ、王林、シナノゴールド、金星、むつ、名月など家庭用から贈答品まで幅広く取り揃えておりますので、御歳暮などにもいかがでしょうか？ たくさんのご来店をお待ちしています。



多くの果物が「収穫の秋」本番を知らせる



色鮮やかな食用菊が売り場を彩る



リンゴは良いところだらけ!!

りんごを食べれば医者知らず
リンゴには強い健康パワーがあることを知っていますか？生活習慣病から癌まで、幅広く効果があるとされています。

例えば、リンゴの皮に多く含まれているペクチンは腸内環境を良くし、リンゴを皮ごと加熱することによって6〜9倍に増加する事が分かっています。

また、悪玉菌を減らし、善玉菌を増やす効果もあります。

このように、リンゴを1日1個食べる事で体に良い効果は沢山あります。旬な今、是非1日1個食べてみて下さい。

果実販売動向

販売課 田中 瑠偉



毎日の農作業お疲れ様です。
10月の果実動向は数量減の単価高で推移しました。

ミカンについては、極早生種が食味不良と棚持ちの悪さから低調でスタートしましたが、早生種の開始に伴い、食味が回復傾向にあることから、売場拡大が進んでいます。

柿については、値ごろ価格から売場が広く維持されており、総体数量の少なさから堅調価格となっています。

洋ナシ類についても、極端に少ないことから堅調価格となっています。

リンゴについては、サンつがるが数量減で切り上がり早く、長野県産シナノスイートがスタートしましたが、春先の凍霜害の影響により総体数量が少なく、堅調価格となりました。本県産早生ふじもスタートしましたが、流通量の少なさから、堅調価格で推移しま

した。反面、トキについては数量減に加えて、輸出向けが多いことから流通量は多くはないものの、売場が狭いことに加えて黄色系品種の長野県産シナノゴールドがスタートしたことから、輸出に向かない下位等級品や小玉果を中心に下げ基調となりました。

一方、輸出については、トキが順調に販売されたことから後続品種への引き合いが強く、シナノスイート・名月も順調に出荷されています。

産地市場については、リンゴの総体数量が少ない見込みのなかで、特に長野県産シナノスイートが極端に少なかったことから高騰し、晩生種まで高値続きとなっています。今後、ミカン、柿、バナナ等の輸入果実の売り場が維持され、リンゴの売



国内外向け共に続々と出荷の準備が進む

り場が縮小されるなか、他県産サンふじが開始となりますが、数量が限定的で、下位等級品中心の回りとなる見込みです。しかしながら今後は、国内外の贈答需要期に入ることから、堅調な販売が予想されます。

令和3年産リンゴは難易度の高い販売となりますが、消費動向や品質等を見極めながら売場の狭い黄色系品種の売込みを積極的に実施するなど、リンゴ全体の高値販売に努力します。

品 種	サンつがる	早生ふじ	ト キ	きおう	サンジョナ	その他	合 計
単 価 (円)	2,720	3,424	2,629	2,670	3,557	3,064	2,960
前 年 比 (%)	95	112	114	89	136	97	103
数量 (箱/10kg)	849,766	659,168	232,137	138,890	6,003	108,730	1,994,694
前 年 比 (%)	87	137	113	81	4,764	93	102



いつも当SSをご利用いただき誠にありがとうございます。

今月から「あったか灯油キャンペーン」を北東北3県で実施中です。期間は11月1日から12月31日まで開催しております。灯油を100リットル以上購入された方や、灯油の定期配達をお申込みされた方、ホームタンクをご購入された方がご応募できます。詳しくは店頭にごポスターなどを掲示しますので、そちらをご覧ください。たくさんのご応募をお待ちしております。

また、11月8日より冬時間になりました。朝7時から夜6時半までとなりましたのでご理解とご協力をお願いします。

さて、タイヤ交換の季節がやってきました。当SSは予約制ではなく、来客順で実施致しますので、

お早めのご来店をおススメします。石油情勢ですが、現在石油価格は全国平均で170円近くまで上昇しています。当SSも去年の同じ時期と比べると40円近く高くなっています。

今回の石油価格上昇の背景には、世界規模で新型コロナウイルスの接種が進み、経済再開に伴って需要が高くなっていることが挙げられます。しかし、需要が膨らむ一方で供給が増えていない状況となっており、これが高値の原因に繋がっています。供給が増えない背景としては、8月末に起きたアメリカにおける石油施設関連のハリケーン直

撃、OPECなどが景気の行き先不透明感を理由に増産を見送ったことが挙げられます。

これから暖房の需要が増えるので家計には大きな痛手です。需要と供給のバランスが元に戻ってほしいと思います。当SSは皆様になるべく安く提供できるように頑張りますので、これからもご利用をお待ちしております。



キャンペーンの多くの参加をお待ちしております

12月 イベント情報

- 毎週木曜日はレギュラー、ハイオク、軽油の特売日
- 10、20の日は灯油の特売日
- 第2、第4火曜日はポイント3倍の日

11月8日から冬時間となりましたので、営業時間は朝7時から夜6時30分までとなっております。ご理解のほどよろしくお願い致します。

JA 相馬村から耳よいなお知らせ

自宅で出来る！

聴力測定 補聴器お試しキャンペーン！

なんとなく、聞こえにくいな…とお思いの方

聴力測定をしてみませんか？

補聴器を試してみたいな…とお思いの方

一度、**体験**してみませんか？

さらに… 現在使用中の補聴器でお困りの方からの
ご相談も承っております。

JAの補聴器は、
アフターの出張料も
かからないから安心♪

家族や友人との会話が
楽しくなったわい♪

とっても
好評
みたいよ♪



★きこえの低下は、ご本人では気づきにくいものです。
「ご家族、お友達、ご近所様」いらっしゃいましたらお声掛けください。

安全・安心

お客様ならびに当社従業員の
安全のために右記の
取り組みを行っております。



手洗い、うがい、
手指の消毒を徹底



スタッフ訪問時の
マスク着用



エタノールでの
製品清掃で清潔に



密集せずに
自宅で個別相談

地域おこし協力隊 活動記 Vol.78



中央：弘前医療福祉大学の学生さんがこの日の講師でした。人命救助への熱い思いを感じました。

左上：弘前市から配備されたコロナ禍の避難所で使用する簡易テント。家族単位で過ごすことができます。



左中央：避難所で具合の悪い方用の隔離場、段ボールベッドに横たわる消防団員の方。頑丈なベッドでした。

中央下：9月末に藍内で行われた弘前市主催の避難訓練。メディア陣が多く、改めて防災意識の高まりを感じました。



右上：防災マイスター講座、弘前医療福祉大学でのAED講習の様子。

右中央：コロナ禍では人工呼吸はせず、口に軽くハンカチを被せて胸骨圧迫とAEDによる電気ショックを実施します。

こんにちは！ 協力隊の石田です。
今回は弘前市が力を入れている防災についてお伝えします。私は昨年、「弘前市防災マイスター育成講座」を受講し、防災マイスターの認定を受けるとともに、防災士の資格も取得しました。

昨年新しくなった防災マップによると、相馬地区は黒滝・安田・昂以外の町会内一部エリアで、土砂災害に警戒する必要があります。

【土砂災害の主な前兆現象】

- かげや地面にひび割れができる、かげや斜面から水が湧き出る。
- 井戸や川の水、湧き水が濁る、止まる。
- 小石がバラバラと落ちてくる、地鳴り・山鳴りがする。
- 降雨が続くのに川の水位が下がる。
- 樹木が傾く、立木が裂ける音や石がぶつかり合う音が聞こえる。

土砂災害警戒情報は青森県と青森地方気象台が共同で発表する情報で、弘前市HP、気象庁HP、内閣府HPなどで確認することが出来ます。警戒レベル4で全員避難完了、お年寄りなど、避難に時間のかかる方はレベル3が発令されたタイミングで避難を開始して下さい。

①災害に会った時に、家族で落ち合う避難所や避難経路を事前に話し合っておく、②非常食は食べ慣れたものや好きな味のものを準備しておく、③水は1人1日2リットル、最低でも3日分は買い溜めがあると安心。④その他、家族や季節に合った防災グッズを玄関の近くに準備しておくと思いいます。

災害時、自分の命をいかに守るか、今一度ご家族で話し合ってみませんか。

(*) 相馬地区公式HP (<http://www.city.hirosaki.aomori.jp/soma/>)



農協役員室で——ネズミ盗聴記

元農協学園長

秋田 義信



農協の役員室。今日、此処へ来

ているのは、放送局と、ケチとホ

イドとヨグタガレである。ケチが

ヨグタガレに言った。

「ナ（汝）、ドンジ掻^かいているが、痔ワリンダベ」

放送局「りんごも野菜もカネエバ、

ドンジにヒビ割れが出来るんだ

ネ。そのうちに百万円（脳卒中）

アダルよ」

ヨグタガレ「農協の生命共済に、

三百万円入っているはんで、子や

孫のためになるジャ」

（ケチが、ポケットからパイプを

出して、タバコの吸い殻を詰め

ている。それをホイドが、にら

めているる）

× × ×

放送局「衆議院の選挙も終った

な、なんも面白くなかったナ」

ホイド「大物がオジレバ面白かつ

たのに、中者の落選が何人かあつ

たナ——」

ヨグタガレ「本県に、ふだんは東

京にばかり居て、選挙の時だけ一

カ月ほどしか、うちに居ない人が、

今回も当選したナ」

ケチ「アレは親のおかげよ。親も

東京にばかり居るのだが——」

ホイド「東京から青森への出稼ぎ

議員か」

【訂正】

前号の「渋谷悠哉^{しゅが ゆうがい}」は渋谷悠蔵^{あわや ゆうそう}の誤りです。渋谷氏（青森市新城）は社会党の衆院議員で、歌手の渋谷のり子さんの叔父

嫌^{きら}われる老人
感謝の心なく
グダメデばかり
義信

編集部のつぶやき～編集後記～

いつも広報誌「林檎の森」をご講読ありがとうございます。

さて、リンゴの収穫作業が最盛期の方も終盤の方も居ると思いますが、今回は系統更新について提案させていただきました。当JAとしても助成などを行っておりますので、ぜひ気になった方は取り組んでみてはいかがでしょうか。

気温も下がり、コロナウイルスが落ち着きを見せていますが、インフルエンザの流行る時期になりますので、手洗いうがい忘れずに健康管理には十分に気を付けてお過ごしください。来月号もよろしくお願ひします。

By tomoshi

理事会だより

10月25日（月）

- 1) 9月末残高試算表について
- 2) 組合員加入について
- 3) 2021ディスクロージャー誌の縦覧について
- 4) 令和4年用春肥料・りんご袋取扱要領について
- 5) 直売所りんご祭り開催要領について
- 6) ダニ剤に対する助成について
- 7) 不良債権四半期報告
- 8) りんご販売関係について
- 9) 弘前市有地の買取について
- 10) ライスセンター建設工事入札予定価格の決定について
- 11) ライスセンター建設工事入札会
- 12) 役員賠償責任保険契約の締結について

23 22 20 18 16 14 12 10 8 7 6 3 1
 風、このこれで
 まきをくべて使う暖房器具。ペチカはロシア
 原価に利益や経費を盛り込んで付けます
 木枯らしも嵐（おろし）もこれ
 サンタクロースのそりを引きまます
 のトッピングにも使われます
 ソーセージの一種。薄切りにしたものがピザ
 弓に矢をつがえて狙うもの
 はがきを買ってきて——状を書いた
 kg、kmのk
 炭を入れて使う暖房器具
 ホップ・ステップ・——
 花などで作るハワイの首飾り
 出生届を出すまでに決めます
 石川県を代表する色絵磁器といえば——焼

【タテのカギ】

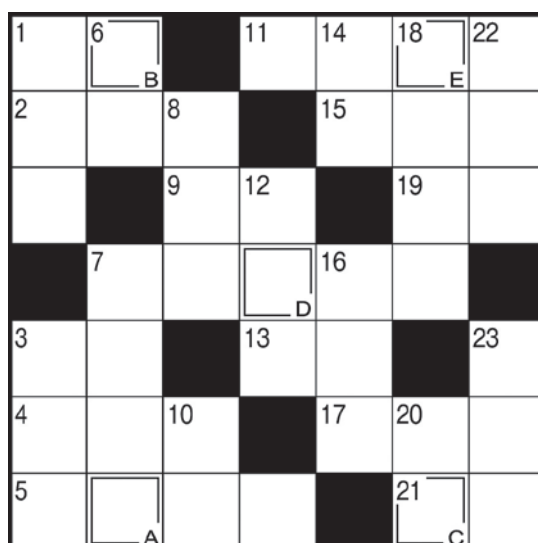
パズル？ 頭の体操

出題 ニコリ

Q 二重マスの文字をA～Eの順
 に並べてできる言葉は何でしょ
 うか？

21 19 17 15 13 11 9 7 5 4 3 2 1
 プラスでもマイナスでもないことを示す数字
 お——の家に回覧板を回した
 食べ過ぎると手が黄色くなるかも？
 大みそかの空に響く除夜の——
 酒よりお菓子の方が好きです
 無地のものには付いていません
 家——の家に回覧板を回した
 家を建てる時に神主さんを招いてする儀式
 家事をする際に着ける前掛け
 定期貯金が——を迎えた
 農機具などをしまっておく建物
 広葉樹の落ち葉を発酵させて作ることも
 一年の終わり。年の——

【ヨコのカギ】



答えは広報「林檎の森12月号」にて掲載いたします。

10月号の答え A:カ B:ン C:ツ D:バ E:キ

表紙物語

りんご農家における高齢化や補助労働力不足が深刻化する中で、弘前市はリンゴの収穫作業などを手伝う職員の副業を10月から許可した（農家との利害関係が発生する農林部と農業委員会の職員を除く）。10月15日現在で職員の申込みが26人、求人数は57件となっている状況だ。リンゴ農家での兼業を可能とする取組は全国で初めてとなっており、今後の補助労働力確保対策の一つとして注目が集まる。

今月の表紙は、10月16日に福田耕生さん（桐の木沢地区）の園地へアルバイトにきた文化振興課の岩下朝光さんが収穫作業を手伝っている様子である。福田さんは岩下さんに収穫力ゴを直接地面に置かないようにするなど、基本的な注意点を優しく説明しながら和気あいあいと作業をしていた。岩下さんは観光関係の業務を担当しており、「ツアーにリンゴの作業体験を取り入れてみたいという思いから応募した。作業は新鮮で黙々と取り組める。リンゴを落とさないようにとプレッシャーを感じな

がら作業するのも楽しい。リンゴが収穫されるまでに沢山の作業があることも勉強できたので、今後の自分の仕事にも活かしていきたい。」と、話してくれた。一方、受入農家側の福田さんは、「毎年収穫時期に人手が足りないのので、この取組を知ってすぐに手を挙げた。」と、教えてくれた。相互の要望が上手くマッチングしたことで実現していた。



福田さんに収穫の仕方を教わる岩下さん（左）



休憩時間の会話に花が咲くのも農業の魅力！



真っ赤なリンゴに囲まれて作業する

JA相馬村広報

りんごのもり
林檎の森

2021.11 Vol.472

■発行者
相馬村農業協同組合
〒036-1593 青森県弘前市大字五所字野沢23-1
TEL.0172-84-3215 FAX.0172-84-3497

■編集
総務課広報
ホームページURL <http://www.ja-souma.or.jp/>
e-mail:soumuka@ja-souma.or.jp

■発行日
2021年11月15日

JA 相馬村概況

〈令和3年10月末日現在〉

組合員数…………… 866 人
（うち准組合員数 …… 375 人）

出 資 金…………… 618,275 千円

貯 金 額…………… 10,089,408 千円

共済保有高…………… 3,215,494 万円